

# 県議会やまがた

6月定例会号

第6号／平成26年（2014年）8月発行〔年4回発行〕



山形花笠まつりパレードに参加しました（8月5日）

## 目次

- ◆ 1面  
6月定例会の概要
- ◆ 6月定例会の代表質問
- ◆ 豪雨災害の現地調査
- ◆ 2面～3面  
6月定例会の一般質問
- ◆ 日沿道、東北中央道、羽越・奥羽本線関係の要望
- ◆ 予算特別委員会の質疑内容
- ◆ 採択された請願、可決した意見書
- ◆ 4面  
府省との意見交換会
- ◆ 活動団体等との意見交換会
- ◆ 地域議員協議会

「県議会やまがた」第6号は、6月定例会の内容を中心に、4月から7月にかけての議会活動についてお伝えします。

## 6月定例会の概要

6月17日から7月4日までの18日間の会期で開催され、本会議で自由民主党、県政クラブによる代表質問、4名の議員による一般質問を行い、さらに予算特別委員会で8名の委員による質問を行ったうえで、平成26年度一般会計補正予算など、知事提出の19議案を可決しました。

請願は5件上程され、3件が採択、意見書として発議され、2件が不採択となりました。意見書は5件発議され、5件とも原案どおり可決、それぞれ関係する府省に送付されました。主な質疑内容は、次のとおりです。

## 代表質問から



自由民主党  
青柳 信雄 議員  
(東根市選挙区)

### 横軸道路の整備促進

**問** 国道48号における豪雪による通行止めにより、本県横軸の脆弱性が改めて浮き彫りになったが、今後、横軸道路の整備促進に向けてどのような取り組みをされるのか。

**答** 高速道路の「縦軸」と太平洋側と日本海側とを結ぶ地域高規格道路などの「横軸」による道路ネットワークの形成は極めて重要である。国道48号の雪崩災害の際にも、国土交通大臣政務官に対して防災対策等の実施を要望し、高規格道路等も視野に入れて取り組む旨の回答を得ている。今後も隣接県等と連携しながら横軸道路の整備促進を政府にしっかりと働きかけていく。

### 認知症対策

**問** 認知症患者が安心して生活できる環境の整備に向けて、地域での支援や見守り体制の構築など、これからの認知症施策にどのように取り組むのか。

**答** これまでも認知症サポーターの養成や、認知症疾患医療センターの設置などを行ってきたが、認知症の正しい知識の普及のため、認知症サポ

ーターの養成をなお一層進めるほか、ガイドブックの作成と活用、更には、市町村に対し警察との連携による見守り体制の強化を促すなど、支援体制の充実に努めていく。

### 子ども・女性・高齢者を守る取組みの強化

**問** 増加傾向にある子ども・女性・高齢者を狙った犯罪や認知症高齢者の行方不明事案に対して、警察ではどのように取り組んでいるのか。

**答** ストーカー・DV、幼児・児童虐待等の人身安全関連事案は、被害者安否の直接確認や、避難、身辺警戒を確実にするなど、被害者の安全確保を最優先に対応している。認知症高齢者の行方不明事案は、関係警察署を中心とした捜索のほか、タクシー・コンビニ等の協力を得て対応している。

また、認知症高齢者の情報を保有する自治体と情報を共有する仕組みも検討している。



県政クラブ  
阿部 昇司 議員  
(鶴岡市選挙区)

### 人口減少対策

**問** 地方の人口減少は、若者の大都市への流出が大きな要因である。若者が結婚し、子どもを産み育てやすい環境づくりのためには、次世代への支援強化が重要と考えるが、本県の対策はどうか。

**答** 6月に設置した部局横断体制の「人口減少対策プロジェクト

チーム」により、効果的な人口減少対策を展開していく。また、地方の人口減少に歯止めをかけるためには、一極集中型の国土構造の是正が必要であり、国策として、地方への人口や産業の分散を進めることが重要である。本県においても地方への分散の実現に向けた検討を行い、政府に対し提案していく。

### 本県農業施策の展開

**問** 米政策の見直しなど、農業者の間で将来への不安が広がっている。将来にわたり担い手が安定的に生産・供給できる環境の整備や6次産業化の推進など、山形らしい農業の展開に向けて今後どう取り組むのか。

**答** 農業を支える担い手が安定的な所得を得るために、飼料用米の生産拡大など複合化による収益確保や農地中間管理機構を通じた農地の集約など、より企業的な農業経営を進めていく。また、農業者の6次産業化などの取組みに対しては、商品の企画開発から販路拡大までをしっかりと支援していく。中山間地域においては、食文化や地域資源などを活用したビジネスの展開を支援していく。

### 地域で暮らす障がい者への支援

**問** 障がい者の地域の中での生活支援をどのように進めていくのか。また、精神障がい者とその親が安心して暮らせる共生型グループホームの整備についての考え方はどうか。

**答** 障がい者の住まいや活動の場として、これまでに、グループホームや就労継続支援事業所等の整備を進めてきているが、今年度第4期山形県障がい福祉計画を策定し、障がい者の福祉施設から地域生活への移行促進などについて目標を設定のうえ支援を行っていく。共生型グループホームについては、具体的な相談があった場合に、市町村と連携しながら支援について協議していく。

## 大雨による被害の復旧に向けて —被害状況の現地調査を実施しました—

梅雨前線の影響により、7月9日明け方から非常に激しい雨が降り、河川の水位上昇などにより9市町で住民に避難指示・勧告等が出されたほか、道路への土砂崩落や、建物の床下・床上浸水、農業用施設の損壊など、甚大な被害が発生しました。

農林水産常任委員会と建設常任委員会は、被害の大きい地域に足を運び、現地の状況を確認し、一日も早い復旧に向けた対応について、関係者と意見を交わしました。

### ◆農林水産常任委員会

7月18日、南陽市、白鷹町の2市町・4か所の災害現場を調査しました。南陽市十分一山のブドウ畑崩落現場では、被災状況について説明を受け、応急処置の状況を確認し、今後の対応について意見を交わしました。



南陽市十分一山での調査の様子

### ◆建設常任委員会

7月14日、上山市、南陽市、白鷹町の3市町・6か所の災害現場を調査しました。南陽市赤湯地区の吉野川では、河川の氾濫の状況について説明を受け、今後の復旧スケジュール等について意見を交わしました。



南陽市吉野川での調査の様子



# 一般質問から



自由民主党  
山科 朝則 議員  
(新庄市選挙区)

## 第38回育樹祭の開催に向けた取組み

**問** 平成14年開催の全国植樹祭を契機に、県民の森づくりへの関心が一層高まり、各地で取組みが広がっているが、10月に開催される第38回全国育樹祭の準備状況はどうか。

**答** 庁内に大会実施本部を6月に立ち上げた。今後、リハールなどを重ね、運営には万全を期したい。また、一般参加者の公募には予定した5千名を上回る参加希望があり、7月中旬には参加者を決定したい。式典行事では、山形の魅力を全国に発信するとともに、東北の絆と復興をアピールするなど、心に響く演出になるよう鋭意準備を進めている。

## 通学における児童生徒の安全確保対策

**問** 平成25年3月に、県では「通学路安全確保対策プログラム」を策定したが、今後、ソフトとハードの両面から、どのように対策を進めていくのか。また、学校の統合等、教育委員会からの早い段階の情報提供が重要と考えるがどうか。

**答** 県では、パトロールや交通違反の取り締まりの強化とともに、信号機の設置、横断

歩道の整備、最高速度規制、街頭防犯カメラの設置を行った。また、今年4月開校の村山産業高校の場合には、開校準備と並行して検討を行い、自転車専用レーンの設置や歩道幅の拡張等を行った。



日本共産党  
渡辺ゆり子 議員  
(山形市選挙区)

## 福祉灯油の制度化

**問** 低所得世帯への灯油費の助成については、消費税増税対応として行うのではなく、「福祉灯油」として恒久化・制度化するとともに、国においても財源措置が行われるよう要請すべきと考えるがどうか。

**答** 昨年度は冬の灯油価格の上昇を受け、県として低所得世帯等への支援が必要と判断し、緊急対策として支援を実施した。今後も灯油価格の推移を注視するとともに、市町村の意見も聞きながら支援の必要性を検討していく。また、このような緊急的な施策の財源については、今後とも、政府において適切に措置されるよう要望していく。

## 認知症施策の推進

**問** 国が策定した認知症施策推進5か年計画に掲げられている「サポート医師の人数」や、「かかりつけ医師の対応力向上研修受講者数」などの目標値に対し、県の進捗状況はどうか。

**答** 平成29年度末の国全体の

数値目標に対し、本県の場合、認知症サポート医師については計画的に養成が図られ、概ね順調に推移しているが、かかりつけ医師に対する対応力向上研修については、受講者数が伸び悩んでいる状況にある。認知症高齢者は今後も増加が見込まれることから、認知症施策については計画的な推進を図っていく。



自由民主党  
小松 伸也 議員  
(最上郡選挙区)

## 農業改革に対する所感

**問** 一般の農業委員会や農協の見直しを含む農業改革は拙速であり、生産現場の声や現状をしっかりと踏まえ、十分な議論を行うべきである。知事の所感を伺いたい。

**答** 「政府の施策等に対する提案」を実施した際に、農業は食料を供給するだけでなく、農村の伝統文化継承など多面的な機能も担っており、多面的な改革は現場に混乱を招く旨、農林水産大臣に申し上げた。県としても、米政策等の見直しや担い手育成を含めた一連の農業・農政改革について、政府の動向を注視しつつ、中長期的観点に立って総合的に検討を行い、しっかりと対応していく。

## 技能五輪・アビリンピックを契機とした技術者育成体制の整備

**問** 平成28年に本県で開催される技能五輪・アビリンピック

クに向けて実施している人材育成は、開催後も継続可能な取組みとすべきと考えるがどうか。

**答** 若手技能者を育成するため、現在、選手育成のための助成金や、優勝者を招いての実践訓練の実施など支援を行っているが、大会終了後も優れた技能者を企業や高校に派遣し、若手技能者の育成に継続して取り組むなど、技術・技能の次世代への継承を図っていく。また、障がい者の技術向上についても、事業主への働きかけを継続的に行っていく。



自由民主党  
大内 理加 議員  
(山形市選挙区)

## 在宅療養者に対する栄養管理の連携体制

**問** 病気療養者の体力回復や生活の質向上につながる栄養管理について、在宅医療の場合、管理栄養士単独では支援が難しく、医師や介護支援専門員等との連携が必要となる。「食」を通じた地域連携の構築に向けて、どう取り組むのか。

**答** 今年度、村山総合支庁において、在宅歯科診療の際に管理栄養士が同行し、必要な栄養や調理方法を助言するなど、適切な栄養管理が行える体制の構築に向けたモデル事業を実施している。今後は、その成果を踏まえ、全県での実施を検討するとともに協議会において効果的な方策

## 県立病院における院内保育所の整備

**問** 医師や看護師が安心して働ける環境整備は人材確保の観点からも重要であることから、県立病院に自前の24時間対応の院内保育所を整備し、併せて広く県民も利用できる病児・病後児保育所も整備すべきと考えるがどうか。

**答** 乳幼児を持つ医師、看護師等への子育て支援の観点から、院内保育所の設置は必要不可欠と考えており、現在、中央病院敷地内への整備に向け、休日を含めた24時間保育を前提に、運営方法や定員規模等を検討している。また、病児・病後児保育についても、地元自治体等と協議しながら検討していく。

## 予算特別委員会の質疑内容



自由民主党  
矢吹 栄修 議員  
(天童市選挙区)

## 福祉関連産業の振興による本県経済の活性化に向けた考え方

**問** 車いすやロボットなどの福祉関連産業の集積による、福祉の分野からの産業振興も

必要と考えるがどうか。

**答** 福祉関連産業は需要の増加が見込まれ、今後、様々な企業の参入が期待される。意欲ある県内企業が市場に積極的にチャレンジできるような、企業への情報提供や企業間連携の推進などの施策に加え、福祉関連産業の誘致に取り組みしていく。また、製品開発により後押ししていく。

## 山形大学の重粒子線がん治療施設整備に対する支援

**問** 山形大学が、平成31年度からの治療開始を目指している重粒子線がん治療施設の整備について、県の支援に対する考え方はどうか。

**答** 山形大学に整備されれば、東北初となり、東北全体のがん医療の水準向上が期待できることから、地方自治体や地元経済界、医療関係者など、東北全域からの幅広い協力が重要である。今後、国の予算措置の状況や県民の期待の広がり等を踏まえながら、支援のあり方を検討していく。



県政クラブ  
吉村 和武 議員  
(山形市選挙区)

## 参議院選挙制度改革を巡る課題

**問** 選挙区の「一票の格差」を是正するため、隣り合う選挙区を統合する「合区」案が示されているが、制度改革を巡る課題をどう捉えているか。

**答** 人口比例に偏りすぎた見

政に届きにくくなる懸念がある。諸外国の選挙制度も視野に入れ、一票の格差を最小限とする検討にとどまらず、人口の少ない地方の声が確実に反映される制度を、国民的議論を経て、しっかりと検討してほしいと考える。

## 県立中央病院の医療機能の充実強化

**問** かかりつけ医等への支援を通じて地域に必要な医療を提供する「地域医療支援病院」



国土交通省中原政務官へ要望書を手渡す

## 日沿道・東北中央道の建設促進と羽越・奥羽本線等の高速化促進等を要望

5月8日、東京都内で、「日本海沿岸東北自動車道」と「東北中央自動車道」の整備促進、「羽越・奥羽本線等」の高速化促進及び悪天候時の安全運行・安定輸送の確保について、要望活動を行いました。

本県をはじめ、青森、秋田、福島、新潟の5県議会から議長などが参加し、日沿道・東北中央道の着実な整備が図られるよう、また、羽越・奥羽本線等について、一日も早く高速化が図られるよう、国土交通省、NEXCO東日本、日本高速道路機構、JR東日本などの関係機関に対し要望しました。

を目指す取組みを含め、医療機能の充実強化にどう取り組んでいくのか。

**答** 高度急性期病院として、県内医療機関との連携と機能分担を一層推進し、難易度の高い手術や、重篤な入院患者等への重点化に取り組む中で、「地域医療支援病院」を指し、施設の共同利用を検討するほか、専門医の配置や手術室の充実等の検討を進めていく。



自由民主党  
加賀 正和 議員  
(尾花沢市・北村山郡選挙区)

**人口減少社会における行政運営のあり方と総合支庁のあり方**

**問** 新たな広域連携制度(連携協約・事務の代替執行)の創設を受け、今後どう対応していくのか。また、総合支庁の見直しについてはどうか。

**答** 広域連携は各市町村の自主的な判断を基本とするが、市町村と県の連携などで引き続き情報収集を行いながら、市町村が適切に判断できるよう支援していく。総合支庁のあり方については、地域ごとの課題に応じ、強化すべき部分とスリム化すべき部分を見極めながら組織を見直していく。

**有害鳥獣被害への対応**

**問** 県猟友会に対する支援など、有害鳥獣による生活環境被害への対策に今後どう取り組んでいくのか。

**答** 新規狩猟者の育成・確保に向け、初心者講習会の開催や、備品購入の補助など支援を強化したところ、若い年齢層や女性の合格者が増えていく。また、生活環境被害の防止に向け、狩猟免許を持たずとも、自宅や敷地内では小型鳥獣を捕獲できるように、有害捕獲に関する許可基準の見直しを進めている。




自由民主党  
児玉 太 議員  
(村山市選挙区)

**国・市町村が連携した今後の治水対策の進め方**

**問** 水防法及び河川法の一部改正を踏まえ、今後、どのように国・市町村と連携した治水対策を進めていくのか。

**答** 水防活動の強化として、監視カメラの映像を、国土交通省のシステムを通じて市町村に提供する取組みを新たに河川管理の充実と連携して取り組んできた河川アダプト事業なども、法の趣旨に照らし重要であると考えている。今後、このような取組みを積極的に進めていく。

**教育委員会制度改革に関する基本的な考え方**

**問** このたびの教育委員会制度改革をどのように受け止め、今後どのように教育行政

に取り組むのか。

**答** 今回の法改正により、選挙で示された民意を教育行政に反映し、従来以上に反映しやすくなることにも、教育委員会との連携体制が強化されること、緊急事態にもより適切に対応可能になるものと考えている。教育の政治的中立性などに留意しながら、連携を一層強化し、本県教育のさらなる充実に努めていく。

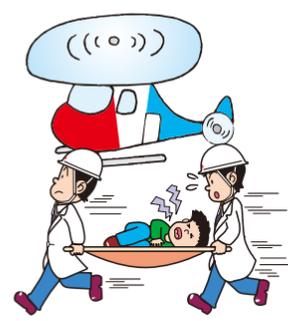


公明党  
菊池 文昭 議員  
(山形市選挙区)

**ドクターヘリの広域連携**

**問** 昨年10月に福島、新潟と3県でドクターヘリの広域連携に係る協定を締結し運用を開始した。広域連携による出動件数はどうか。また、秋田県との広域連携の見直しはどうか。

**答** 出動実績は、本県から福島県へ3件、福島県から本県へ2件、新潟県から本県へ1件である。秋田県との広域連携については、飛鳥を含む庄内北部地域や最上地域の緊急医療体制の充実を図るうえで重要であることから、締結に向けた取組みを進めている。



**朝日学園の整備**

**問** 朝日学園の「葉山寮」「蔵王寮」は、就寝場所や浴槽が狭いなどの課題があり、児童・生徒が生活するうえで、より良い環境に改善する必要があると思われるが、整備に対する県の考えはどうか。

**答** 朝日学園は、寮を中心に老朽化が進んでいる。今後の整備については、今年度、施設の長期的活用に向けた現地調査のほか、児童福祉法に基づく第三者評価を新たにを行うこととしており、整備の方向性について検討していく。



自由民主党  
金澤 忠一 議員  
(山形市選挙区)

**子育てしやすい環境づくり**

**問** 来年度から施行される子ども・子育て支援新制度を踏まえ、子育てしやすい環境づくりに向けて、今後どのような支援に取り組んでいくのか。

**答** 増加が見込まれる3歳未満児童の保育ニーズへの対応や、認可外保育施設の新制度への移行支援、放課後児童クラブの充実などの課題に的確に対応するとともに、事業計画を策定し、保育サービスの質と量を確保する。また、実施窓口となる市町村と連携しながらサービスの周知に努めていく。

**首都圏からのUターン就職の促進**

**問** 首都圏からのUターン就職の促進に向け、これまでど

のような取組みを行い、どのような成果が得られたのか。

**答** 東京都内に「Uターン情報センター」を設置し、就職相談や情報提供等を行っている。昨年度は、職業紹介を一一五件行い、29人が県内に就職した。また、インターネット上で登録した求職者と企業とのマッチングを促進する「やまがた21人材バンク」により、二五二件の紹介を行った結果、10人の県内就職につながった。



自由民主党  
船山 現人 議員  
(東置賜郡選挙区)

**今後の計画的な道路整備の進め方**

**問** 道路網の整備と産業振興は密接に関係している。置賜の幹線道路網の整備が進む中、県が管理する道路も、年次計画を明確にして整備を進めるべきと考えるがどうか。

**答** 高速道路や地域高規格道路を含め、本県の道路の整備方針は「山形県道路中期計画」により、平成30年度の計画期間までに具体的な目標値を定めて施策を推進している。今後も主要な施策の目標を可能な限り明らかにして道路の整備を進めていく。

**農政改革と今後の県農政のあり方**

**問** 農政の変化に追随するだけでは、心豊かな美しい農村は実現されない。地域政策や人口対策の観点からも独自の方針を示し、県民をリードすべきと考えるがどうか。

**答** 将来の本県農業の基本方針として、平成21年度に「農林水産業元気再生戦略」を策定し、農家のやる気を引き出す独自の施策を展開している。今度も逐次見直しを行うとともに、国の施策もフル活用しながら、山形らしい各種プロジェクトを推進していく。



自由民主党  
坂本貴美雄 議員  
(新庄市選挙区)

**県立新庄病院の改築事業**

**問** 最上地域では平成24年に5万人を超える署名を添えて知事に要望書を提出するなど、早期改築を要望し続けている。改築整備に関する知事の考えを伺う。

**答** 今後の人口や年齢構造の見直し、新庄病院における診療内容の分析等の基礎調査の結果を踏まえ、今年度、将来的な病院の医療機能のあり方を検討することとしている。署名については重く受け止めて、改築整備を含めた一層の機能強化に着実に取り組んでいく。

**山形ファンクラブ事業**

**問** 現在、ファンクラブの入手方法は、東京の「おいしい山形プラザ」又はホームページからの申込みに限られているため、県内の観光施設等でも申込みを可能にするなど、入会機会を拡大し、会員数増加につなげてはどうか。

**答** 今後、県内約一七〇店舗

- 採択された請願**
- 手話言語法制定を求める意見書の提出について
  - ウイルス性肝炎患者の救済を求める意見書の提出について
  - 放課後児童クラブに関わる財政措置の充実を求める意見書の提出について

- 可決した意見書**
- 参議院選挙制度の見直しに対する意見書
  - 手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書
  - ウイルス性肝炎患者の救済を求める意見書
  - 放課後児童クラブに関わる財政措置の充実を求める意見書
  - 国の農業改革に関する意見書
  - 憲法改正の早期実現を求める意見書
- (全文はホームページでご覧いただけます)

の協賛店の協力により、観光施設等での勧誘や申込書の提供ができるよう、効果的な方法を検討する。また、新たに郵便やファックスでの申込みができるよう対応していく。

# 議会トピックス 4~7月の議会活動の紹介

県民の声を  
県政に!

## 活動団体等との 意見交換を行いました

県民の皆さんの多様な意見を県政に反映する広聴機能を強化するため、常任委員会の現地調査において意見交換を行いました。

### 文教公安常任委員会

5月23日、南陽市沖郷地区学校支援地域本部のメンバーの方々と意見交換を行いました。

地域の皆さんによる積極的なボランティア活動を行う同本部の事業概要などについて説明を受け、地域教育力の向上などについて意見交換を行いました。また、「いきいき図書館ボランティア」の方々による本の整理や修復作業の様子を見学しました。



### 厚生環境常任委員会

5月29日、若者の社会復帰などを支援する2つのNPO法人（「から・ころセンター」、「With優」）スタッフの方々と意見交換を行いました。その中では、若者の社会復帰への支援は1年以上の長い時間をかけて行うこと、そのための人員体制や財源確保が必要であることなどが意見として出されました。



### 商工労働観光常任委員会

5月16日、山形青年会議所メンバーの方々と意見交換を行いました。

国際青年会議所アジア太平洋地域会議（ASPAC山形大会、6月4日～7日開催）に向けた取組状況について説明を受けた後、同大会における観光PRのあり方や、大会を契機とした本県の活性化策などについて意見を交わしました。



## 府省との意見交換会を開催しました

6月12日、東京都内で、府省との意見交換会を開催しました。

この会は、県議会における議論や、県開発推進協議会が政府に対して行う提案内容などを踏まえ、国の制度や新たな施策の方向性について意見交換を行うために開催したもので、関係府省の幹部職員を招き、議員15名が出席しました。会議では、3つの分科会に分かれ、活発な議論を行いました。

### 第1分科会

■テーマ：農林水産業・地域の活力プランに基づく農政改革について

- 主な論点
- ・中山間地域における農業振興と農山村活性化について
  - ・農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化について
  - ・6次産業化の総合的な推進について
  - ・林業の成長産業化について



### 第2分科会

■テーマ：災害に強い道路ネットワークの整備促進と道路の老朽化対策について

- 主な論点
- ・高速道路の整備促進について
  - ・地域高規格道路等の整備促進について
  - ・道路の除雪、豪雪対策等への支援について
  - ・道路の老朽化対策について



### 第3分科会

■テーマ：中小企業の振興による地域経済の活性化について

- 主な論点
- ・地域社会を支えている小規模企業へのきめ細かな支援及び支援体制の強化について
  - ・世界最先端の技術による産業形成に向けた支援の充実強化について
  - ・ものづくり産業の人材育成を積極的に進めるための支援及び支援体制の強化について



## 地域議員協議会を開催しました

地域議員協議会は、各総合支庁において、地元選出議員が一堂に会し、地域における行政課題や施策展開について、幅広い調査・審議・提言を行い、総合支庁における施策・事業への反映を図るものです。今年度第1回目の協議会は、7月25日に県内5会場で開催され、7月9日からの豪雨災害による被害状況や今後の対応策をはじめ、県政の幅広い項目について活発な議論が交わされました。

2回目の協議会は11月に開催を予定しています。日時・会場についてはホームページ等でお知らせしますので、ぜひお近くの会場にお越しください。

### [主な審議項目]

#### 東南村山

- ・大雨時における対応と災害復旧の見通しについて
- ・山形デスティネーションキャンペーンに係る取組について
- ・熱中症対策について
- ・今後の紅花振興策について
- ・生活困窮者への自立支援の取組状況について

#### 西村山・北村山

- ・再生可能エネルギーの導入促進について
- ・寒河江川の濁りについて
- ・そばのブランド化及び大豆の生産振興について
- ・仙山交流における国道48号改良促進について
- ・特別支援学校の現状について
- ・認知症高齢者対策について
- ・村山広域水道における断水対策について

#### 最上

- ・伝承野菜の新たな販売戦略等について
- ・人口減少に対する最上地域の対応について
- ・最上地域の定住自立圏構想について
- ・石巻新庄道路の整備実現に向けた取組について
- ・最上地域の患者の流出率と県立新庄病院の取組について

#### 置賜

- ・7月9日からの大雨による被害への対応について
- ・国道287号白鷹町大瀬地内で発生した地すべり災害の対応について
- ・治水事業及び治山事業の連携について
- ・災害危険箇所の情報共有について
- ・東北中央自動車道における「道の駅」の整備について

#### 庄内

- ・酒田港の荷役体制について
- ・再生可能エネルギーの導入状況について
- ・十六羅漢・出羽二見への歩道の設置について
- ・米の価格動向について
- ・砂防ダムなどの治水対策について
- ・庄内空港の利用振興について
- ・県管理道路の除草の体制について



県議会は、年に4回（2月・6月・9月・12月）定例会を開催します。

「県議会やまがた」は、各定例会の概要等をお知らせします。

編集  
発行

山形県議会

〒990-8570 山形市松波2-8-1 TEL 023-630-2845  
ホームページアドレス <http://www.pref.yamagata.jp/assembly/>

山形県議会

検索

### 県議회를傍聴しませんか

県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

当日、県議会議事堂にお越しいただき、簡単な手続きをしていただくだけで入場できますので、ぜひお越しください。

問合せ先 023-630-2840